

# 古紙ざつがみ（新聞・段ボール・雑誌・雑紙）の出し方

週 **1** 回収集

収集日の当日の朝、**午前8時まで**に出してください。  
☆祝日も収集します（年末年始を除く）

**1回に出せる量は、束または紙袋であわせて3つまでです。**

古紙

市が資源物として収集する古紙は「新聞紙」・「段ボール」・「雑誌（本を含む）」・「雑紙」です。雨の日にも収集しますが、大雨の時は飛散の恐れがありますので、次回の収集にまわしてください。

◆新聞紙（ちらしも可）、段ボール、雑誌（本）

【出し方】

種類別に分別し、**ひもで十字に束ねる**。新聞紙、雑誌は片手で持ち上げられる程度の重さ、段ボール（みかん箱大を目安とする）は10枚ずつを束にする。



◆雑紙（はがき、ポスター、包装紙、ボール紙、名刺、メモなど）

【出し方】紙袋に入れるか、ひもで束ねる。



※ 箱類はたたんで、出してください。

※ 段ボールの中に古紙を入れて出すのはやめてください。

※ 汚れや臭いのついた紙や箱は、燃やせるごみで出してください。

※ シュレッダー紙は、少量の場合は燃やせるごみで出してください。  
20ℓ以上ある場合は、飛散防止のためビニール袋にまとめて古紙で出してください（他の雑紙と一緒に入れないでください）。

〈よくいただく質問〉

Q 古紙として出せない紙にはどんなものがありますか？

A P10「◆資源にならない紙類」を確認してください。

Q 紙袋がない場合はどうすれば良いですか？

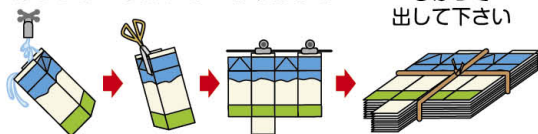
A 大きい雑紙（包装紙等）で小さい雑紙をはさむようにして、ひもで十字に束ねてください。毎月2回届く広報みたかを使って雑紙回収袋を作る方法も紹介していますのでご利用ください。

雑紙回収袋の作り方



〈牛乳パックの出し方〉

あらって ひらいて かわかして しぼって 出して下さい



・裏側が白いもの以外は可燃ごみで出してください。  
・拠点回収も行っています。詳しくはP23をご覧ください。

1袋・1束の重さは片手で持ちやすいようにしてください。

**古紙は雨の日でもビニール袋には入れないでください。**

# 古着類の出し方

週 **1** 回収集

収集日の当日の朝、**午前8時まで**に出してください。  
☆祝日も収集します（年末年始を除く）

**※1回に出せる量は、45ℓ相当の袋で3袋分までです。**

古着類

◆着用可能な衣類・肌着、毛布、シーツ（キルティング加工のものは除く）、タオルケット、きれいなカーテン（レースも可）

【出し方】

「古着」と表示し、透明または半透明の袋に入れる。



※ 雨や雨の降りそうな日は出さないでください。

※ 汚れているもの、破れているもの、濡れているものは燃やせるごみへ。

〈よくいただく質問〉

Q 着用可能ってどの程度ですか？

A 古着は収集後、海外に輸出され、「古着」として再利用されています。汚れや破れがなく、まだ他の人が着られそうなものであれば古着として出してください。古着以外のものは小さく裁断され、ウエス（工業用の雑巾）や反毛になります。

Q 下着も出せますか？

A 下着も着用可能な状態であれば、古着として出すことができます。日本の下着は品質が良いため、開発途上国等で需要が高く、古着として再使用しています。古着として出たくない場合は、燃やせるごみで出してください。

雨や雨の降りそうな日は出さないでください。

**古着は雨の日には出さないで！**



古着は海外に、左記のように梱包され、船便で輸出されます。雨にあたる等で、カビてしまうと輸出ができなくなりますのでご注意ください。

粗大ごみの申し込みは「三鷹市粗大ごみ受付センター」へ

**☎03-5715-1212** ※詳細はP.16~17 月～土 午前8:00～午後7:00（年末年始を除く）